

平成30年4月6日

地域経済循環創造事業交付金を活用した  
複合施設整備に対する事業性評価融資の決定

株式会社秋田銀行（頭取 新谷 明弘）は、有限会社柴田慶信商店（代表取締役 柴田 昌正）が実施する新たなコンセプトによる複合型賑わい・交流拠点整備事業に対し、総務省地域経済循環創造事業交付金を活用した事業性評価融資を決定しましたのでお知らせいたします。

本事業は、平成29年8月に大館市と当行による移住・定住・交流の促進を目的に締結した「大館市総合戦略協創協定」の一環として位置づけている取組みとなります。

平成29年度の当該交付金を活用した事業性評価融資件数は、本件を含め4件<sup>(注)</sup>となり、全国の金融機関のなかで最多となります。当行では、今後も地域金融機関としての目利き力およびコンサルティング機能を発揮することで、秋田県の地方創生に貢献してまいります。

(注) 本件を除く支援対象事業は別記のとおり

記

1 支援対象事業について

事業者名：有限会社柴田慶信商店（代表取締役 柴田昌正）

実施場所	大館市
事業名	伝統的工芸品「大館曲げわっぱ」を核とした複合型賑わい・交流拠点リノベーション事業
交付額	18百万円
当行融資予定額	18百万円（取引店：大館駅前支店）
事業概要	・大館駅前エリアの空き店舗を活用し、「大館曲げわっぱ」を核とした情報発信、人の交流および仕事の創出に資する複合施設へのリノベーションを行う。 ・「大館曲げわっぱルーム」としてギャラリーや制作体験スペースを設けるほか、カフェテリアおよびコワーキングスペースを併設することで、賑わいの相乗効果創出を企図する。

2 総務省地域経済循環創造事業交付金について

- 本交付金は、産学金官の連携により地域資源を活かした先進的で持続可能な事業に取り組む事業者に対し、初期投資費用の一部を総務省と自治体が助成する制度です。今回のケースでは、大館市が本事業への助成を決定しております。
- 採択要件として、地域経済の循環効果のほか、高い新規性・モデル性が求められています。
- 金融機関に対しては、無担保無保証の融資と併せ、事業キャッシュフローの継続的な把握によるコンサルティング機能の発揮が求められています。

(以 上)

(別 記)

**本件を除く平成29年度の支援対象事業について**

1 事業者名：株式会社割烹きらく（代表取締役 石川崇）

実施場所	大館市
事業名	廃業した老舗旅館の地域ブランド発信型再生による地域活性化事業
交付金額	22.5百万円
当行融資額	22.5百万円（取引店：大館駅前支店）
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・廃業した地域の老舗旅館（日景温泉）を利活用し、インバウンドや高所得者層などの新たなマーケットに訴求する温泉に再生を目指す。</li><li>・秋田杉のテーブルや曲げわっぱの食器、きりたんぼや比内地鶏など、地域の産品等の魅力をショーウィンドウ的に発信する拠点として活用する。</li></ul>

2 事業者名：有限会社黒湯温泉（代表取締役 池田佳子）

実施場所	仙北市
事業名	「秘湯」乳頭温泉郷におけるインバウンド特化型拠点整備事業
交付金額	17.1百万円
当行融資額	17.1百万円（取引店：大曲支店）
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・乳頭温泉郷の最奥に位置する黒湯温泉において、東南アジアのインバウンド需要の取込みをはかるため、ユーザー嗜好に合う客室棟を整備する。</li><li>・同温泉ならではの湯治文化や歴史を活用し、これらを海外へ発信しながらマーケットの開拓を目指す。</li></ul>

3 事業者名：合資会社八幡平後生掛温泉（代表社員 阿部仁）

実施場所	鹿角市
事業名	天然オンドル湯治棟新築による若年層・インバウンド市場開拓事業
交付金額	25百万円
当行融資額	33.5百万円（取引店：花輪支店）
事業概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・天然オンドルを基盤とした湯治文化、八幡平の自然や地熱を楽しむアクティビティなど、他に類を見ないコンテンツを活用した新たな宿づくりを行う。</li><li>・個室設備の充実によりプライベート空間を確保することで、新規湯治客、インバウンド、若年層などの新規顧客層の獲得を目指す。</li></ul>

(以 上)